

大学院文学研究科 修士課程への推薦入学制度について

大学院文学研究科修士課程では、文化構想学部・文学部の学生を対象とした推薦入学試験を行っています。正式な 2017 年度推薦入学試験要項は 4 月に公表されますが、ここに推薦入学制度の概要をお知らせします。

1. 推薦入学試験を実施するコース

2017 年度入学試験において推薦入学試験を実施するコースは、以下のコースです。

哲学コース	中国語中国文学コース
東洋哲学コース	美術史学コース
心理学コース	東洋史学コース
社会学コース	西洋史学コース
日本語日本文学コース	考古学コース
英文学コース（新規）	文化人類学コース
フランス語フランス文学コース	中東・イスラーム研究コース
ロシア語ロシア文化コース	

* 各コースとも募集するのは「若干名」です。

* これらのコースは、9 月の一般入学試験も実施します。

2. 出願資格

推薦入学試験への出願者は以下のすべての条件を満たす必要があります。

- ① 出願時において 2016 年度（2016 年 9 月または 2017 年 3 月）卒業見込みであること
 - * 休学や留学をしても出願資格はあります。
 - * 延長生も出願資格はあります。
- ② 文学研究科への進学を第一志望としていること
- ③ 前年度終了時の GPA が 3.0 以上であること

* 現時点の GPA は、後述の算出方法を参照し、各自で算出してください。

* 転部・学士の方は、転部・入学後の成績で GPA を算出してください。

3. 選考方法と日程

推薦入学制度においては、一般の入学試験と異なり筆記試験は行いません。書類選考と面接試験によって選考します。2017 年度の推薦入学試験は以下の日程で行ないます。詳細は入学試験要項でご確認ください。

2016 年 4 月	入学試験要項を発表
2016 年 6 月中旬	出願期間
2016 年 7 月中～下旬	書類選考・面接試験
2016 年 7 月下旬	合格者発表

6. 推奨事項

- 1) 大学院への推薦希望者には、コースが履修することが望ましいと判断した大学院科目の先取り履修を推奨します。
- 2) 出願者には、A 評価以上に値するゼミ論文・卒業研究・卒業論文を作成することを期待します。
- 3) 以下表の通り、コースごとの推奨事項を確認のうえ、出願をしてください。

コース名	推奨事項
哲学	「基礎外国語」ならびに「必修英語」を含む外国語の成績優秀者であること、また哲学関連の演習科目・講義科目を履修していることが望ましい。
東洋哲学	文学部東洋哲学コース以外に在学する推薦入学希望者は、東洋古典学（インド・中国・日本の思想や宗教）、漢文、サンスクリット語（インド学希望者）に関連する科目を履修していることが望ましい。
心理学	心理学関連の演習あるいはゼミ、講義科目を履修していることが望ましい。
社会学	文化構想学部 ¹ に在学する推薦入学希望者は、社会学関連の演習を履修することが望ましい。（詳細は、 社会学コース HP を参照すること。）
日本語日本文学	日本語・日本文学に関する科目を履修していることが望ましい。
英文学	英文学、英語圏文化関連の講義・演習を履修していることが望ましい。
フランス語フランス文学	フランス語フランス文学・文化関連の科目と、中・上級フランス語の科目を履修していることが望ましい。
ロシア語ロシア文化	ロシア語、ロシア文学、ロシア文化関連の演習、講義科目を履修していることが望ましい。また、ロシア語原典に基づいて積極的にロシア語、ロシア文学、ロシア文化の研究をしようとする姿勢を期待する。
中国語中国文学	中国語中国文学関連の演習科目・講義科目、ならびに基礎外国語・選択外国語の中国語科目を履修していることが望ましい。
美術史学	文学部美術史コース以外に在学する推薦入学希望者は、美術史関連の講義科目を多く履修していることが望ましい。英語以外に、自分が専門としようとする分野に必要な外国語の十分な能力があること。美術館学芸員を志望する者は、学芸員資格取得見込みであるか、進学後 2 年以内に取得すること。
東洋史学	文学部アジア史コース以外に在学する推薦入学希望者は、アジア史関連の演習、講義科目を履修していることが望ましい。
西洋史学	
考古学	考古調査士 2 級を取得もしくは取得中であることが望ましい。
文化人類学	文化人類学関連の演習、講義科目を履修していることが望ましい。また、外国語の成績優秀者であることが望ましい。
中東・イスラーム研究	

4. 推薦教員

出願者は文学学術院専任教員に対して推薦を依頼し、所定書式に「所見」を記入してもらう必要があります。詳細は入学試験要項でご確認ください。

5. 研究計画書

出願に際しては、志望理由や修士課程での研究計画を記したものを提出する必要があります。求められる分量等はコースにより異なります。詳細は入学試験要項でご確認ください。

7. 大学院先取り履修科目

従来から、一定以上の単位を修得している4年次以上の学部学生は文学研究科の修士課程に設置されている科目を（その科目の担当教員の許可を得た上で）先取り履修することが可能です。この制度によって修得した単位は、学部での卒業所定単位には参入されませんが、修士課程に進学した場合には修士課程で修得しなければならない32単位の中に16単位まで算入されます（演習科目は除く）。なお、算入するためには、大学院入学後別途手続きが必要です。

推薦入学制度は、この先取り履修を推奨しています。推薦入学を考える人は、4年次以上の春学期の科目登録の際に、志望する大学院コースの科目の先取り履修を積極的に検討してください。なお、大学院の科目登録は学部の科目登録日程と異なります。詳細は「科目登録の手引き」等でご確認ください。

推薦入学制度の主たる狙いは、能力の判定においては学部での勉学の積み重ねを高く評価しつつ、学部在学中から大学院の側も関わりながら学部での勉学と修士課程での研究とを出来るだけスムーズに接続させていこうとする点にあります。したがって、上記コースへの進学に関心がある人に対しては、大学院文学研究科のコースに問い合わせて大学院科目の先取り履修などについて相談することをお勧めします。大学院の当該コース運営主任、またはコース室にお問い合わせください。

8. GPAの算出方法について

GPAとは、A+評価を4、A評価を3、B評価を2、C評価を1、不合格科目を0として、それぞれに修得単位数を乗じ、その総計を不合格科目を含む総登録単位数で割った値です。その際、合・不合のみがつくP・Q科目と認定のN、卒業に必要な単位に含まれない科目は計算から除外します。

1) GPA 計算式

$$\text{GPA} = \frac{(A^+ \text{修得単位数} \times 4) + (A \text{修得単位数} \times 3) + (B \text{修得単位数} \times 2) + (C \text{修得単位数} \times 1) + (\text{不合格科目単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数 (不合格科目を含む)}}$$

2) 対象科目

卒業算入科目でかつ評価区分が次頁表の算出対象に該当する科目。

表：評価区分

評価記号	算出対象	備考
A ⁺	計算対象 (合格科目)	
A		
B		
C		
F	計算対象 (不合格科目)	
G		
H		評価区分名称が「保留」の場合は、対象外とする。
N	計算対象外	
P		
Q		

認定科目の取り扱いは、以下の通り。

- A⁺、A、B、C、F、G、H（「保留」の場合を除く）で評価する科目 ⇒ 対象科目とする。
- N、P、Qで評価する科目 ⇒ 対象外科目とする。

以上